

| | |
|--|---|
| I 乳 腺 疾 患 関 連 8 単 位 | ねらい |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・乳房の構造と機能(内分泌依存性)を理解し、主な乳房疾患の症候、診断と治療を学ぶ。 ・乳腺の腫瘍の疫学、発生機序、症候、診断と治療を学ぶ。 ・診断と治療体系に必要な遺伝子学を理解する。 ・医師間の連携ならびに医師と看護職の連携の実際を理解する。 ・超音波の技術(機器の取り扱い、画像の読影)が習得できる。 ・超音波画像の異常所見が認められた場合の、専門医への連携(コンサル)ができる。 |
| | 受講の到達目標 |
| | 1. 構造と機能 |
| | 1-1). 乳房の構造(解剖)と機能を説明できる。 |
| | 1-2). 成長発達に伴う乳房の変化を説明できる。 |
| | 1-3). 乳汁分泌に関するホルモンの作用を説明できる。 |
| | 2. 医師が行う診断と検査の基本 |
| | 2-1). 厚生労働省のがん検診指針ならびに検診の利点および限界について概説できる。 |
| | 2-2). 乳房腫瘍の画像診断(乳房撮影、超音波検査、磁気共鳴画像法(MRI))を概説できる。 |
| 2-3). 乳房腫瘍に対する細胞・組織診断法(細胞診、組織診、マンモトーム生検など)を概説できる。 | |
| 2-4). 標準治療(ガイドラインについて)概説できる。 | |
| 3. 症候 | |
| 乳房腫瘍、異常乳汁分泌(血性乳頭分泌)と乳房の腫脹・疼痛・変形をきたす主な病因を列挙できる。 | |
| 4. 疾患 | |
| 良性乳腺疾患(炎症、乳腺症、乳管内乳頭腫、乳頭部腺腫、腺腫、線維腺腫、葉状腫瘍、乳管拡張症) | |
| 4-1). 良性乳腺疾患の種類を列挙できる。 | |
| 4-2). 良性乳腺疾患の治療が説明できる。 | |
| 4-3). 乳腺炎の判断ができる。 | |
| 腫瘍性疾患(非浸潤性乳管癌、非浸潤性小葉癌、乳頭腺管癌、充実腺管癌、硬癌、浸潤性小葉癌、粘液癌、Paget病、炎症性乳癌、悪性リンパ腫) | |
| 4-4). 乳癌の危険因子、症候、病理所見、診断、治療(手術法、センチネルリンパ節生検、化学療法、ホルモン療法、分子標的治療、放射線治療、乳房再建法等)と予後を説明できる。 | |
| 4-5). 乳がんの罹患率、死亡率を説明できる。 | |
| 4-6). 妊娠期/授乳期の治療の実際が理解できる。 | |
| 5. 連携 | |
| 5-1). 産婦人科医から乳腺外科医等への連携の実際が理解できる。 | |
| 5-2). 看護職から医師への連携が説明できる。 | |
| 6. 機器の取り扱い | |
| 6-1). 乳房超音波機器が正確に取り扱え、画像の読影ができる。 | |
| 6-2). 映し出された画像から正常・異常の判断ができる。 | |
| 講義 <2単位> | |
| 内容 | |
| 1-1). 乳房の解剖と機能 | |
| 1-2). 主な乳腺疾患(乳腺症、乳腺線維腺腫、葉状腫瘍、乳管内乳頭腫、乳癌など) | |
| 1-3). 医師が行っている乳腺疾患の診断の進め方 | |
| 1-4). 医師が行っている乳腺の画像診断(マンモグラフィ、乳房超音波検査、乳房MRIなど) | |
| 1-5). 超音波機器の取り扱い | |
| 1-6). 乳腺疾患の病理学的検索(細胞診、組織診、マンモトーム生検など) | |
| 1-7). 良性乳腺疾患の治療 | |
| 1-8). 乳癌の治療(手術法、センチネルリンパ節生検、化学療法、ホルモン療法、分子標的治療、放射線治療、乳房再建法) | |
| 1-9). 妊婦/授乳婦への治療の実際 | |
| 1-10). 遺伝性乳癌 | |
| 1-11). 標準治療(ガイドライン)について | |
| 演習 <6単位> | |
| 内容 | |
| 1-12). 乳房超音波機器の基本的な取り扱い、操作方法 | |
| 1-13). 超音波画像の明確な映し出し | |
| 1-14). 画像の読影 | |
| ※上記に対しては受講後試験を実施する。 | |
| ねらい | |
| II 女 性 の | |
| 女性のライフステージ(思春期/性成熟期/妊娠期/産褥期/更年期)における乳房の変化を理解し、その変化に起因した事象について適切なケアを提供し対象者を支援することができる。 | |
| 受講の到達目標 | |
| 1. 乳房の発生・分化・発達について説明できる。 | |
| 2. 正常乳房(腋窩含む)の解剖および組織について説明できる。 | |

- 3. 女性のライフステージ各期における乳房について説明できる。
 - 3-1). 思春期における月経周期と乳腺の変化について説明できる。
 - 3-2). 性成熟期における乳腺の変化について説明できる。
 - 3-3). 妊娠期における乳腺の変化について説明できる。
 - 3-4). 授乳期における乳腺の変化について乳汁分泌の内分泌機構を説明できる。
 - 3-5). 更年期における乳腺の変化について説明できる。
- 4. 女性のライフステージ各期における乳房に関する相談に応じ、必要な保健指導ができる。
 - 4-1). 授乳期における乳腺炎予防のための生活指導ができる。
 - 4-2). 授乳期の保健指導（乳腺炎重症化予防、メンタルヘルスケアを含む）ができる。
 - 4-3). 乳がん検診を推奨し、Breast awarenessの指導ができる。
 - 4-4). 異常と判断した場合に専門医への受診を勧める説明ができる。
 - 4-5). 授乳期の薬剤投与についてアドバイスができる。
 - 4-6). 女性のライフステージ各期における乳房に関する相談に応じ、必要な保健指導ができる。
 - 4-7). QOLを考慮できる。
 - 4-8). カウンセリングの必要性を理解できる。

講義 <7単位>

内容

- 1-1). 乳房の発生・分化・発達
- 1-2). 乳房（腋窩含む）の解剖および組織について
- 1-3). 女性のライフステージ各期における乳房の変化
- 1-4). 相談技術：カウンセリング、コミュニケーション、意思決定支援、アサーティブコミュニケーション、ネゴシエーション
- 1-5). 授乳期における乳腺炎の実際
- 1-6). 授乳期における乳腺炎予防のための生活指導の実際
- 1-7). 授乳期の保健指導
- 1-8). 乳がんの自己検診法

・産褥期におけるメンタルヘルスケアに関係する講習・研修会への1回以上の参加